

ガイドと歩く

あわら歴史ものがたり

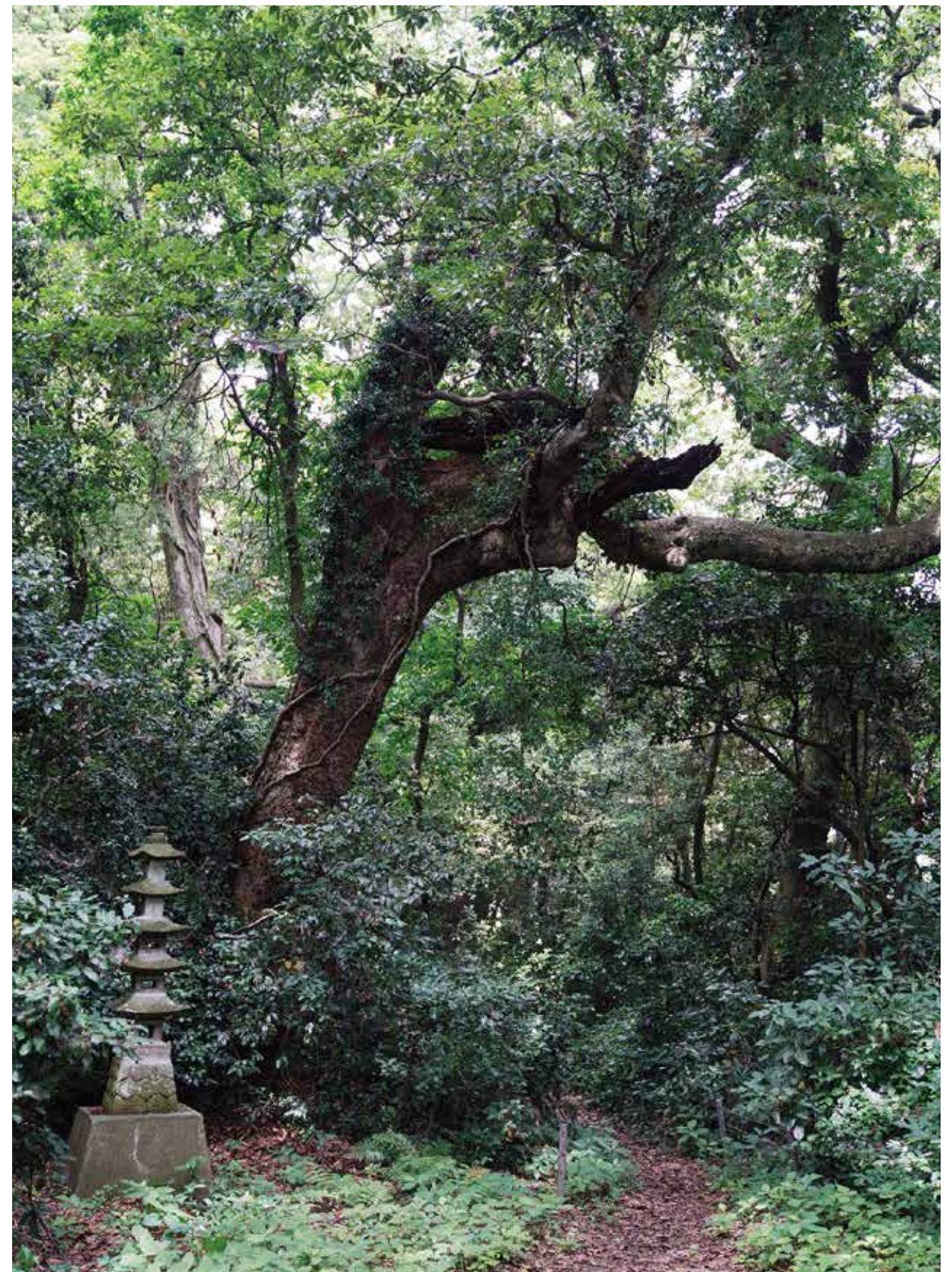
～知られざる未知の世界へ～

実はたくさんの歴史が詰まった、福井県あわら市。

ガイドと歩くことで、歴史ロマンや「へえ～なるほど」がたくさん見つかることでしょう。

まだ見ぬ“あわら”を体験してみませんか。

細呂木地区・石切場跡



吉崎地区・鹿島の森の奥

発行：(一社)あわら市観光協会

910-4103 福井県あわら市二面33-1-5 えちぜん鉄道あわら湯のまち駅舎内
0776-78-6767(月～金 8:30～17:15)

2019.3



あわら温泉街

Awara Onsen town

～偉人も愛した癒しの湯～

芦湯(あしゆ)
朝7時～夜11時(年中無休・無料)*タオル自販機あり

セントピアあわら
～銭湯気分温泉～

あったか～い

温泉街の中心にある日帰り入浴施設。温泉を楽しむ間に温泉たまごを作れる場所もあり、市内外から多くの人が訪れています。外にある手湯では湧き出る源泉の温かさにホッとひといき。

あわら市温泉4-305



お風呂上がりにはふるふる出来立て温玉を!



カゴに入れて温泉に投入

田中温泉 薬師神社

祭神は少彦名命。日本神話の神で、小柄で敏捷かつ忍耐力に富み、医薬の神とされています。

あわら市温泉3丁目511



舟津温泉 薬師堂

病を治す功德のある薬師瑠璃光如来、患部と同じところをなでると治ると言われる寶頭盧尊者像などをお祀りしています。

あわら市温泉5丁目511



二面温泉 薬師堂

本尊に薬師如来をお祀りしています。度重なる大火にもめげず、昭和46年には本殿を造営し、地藏菩薩の尊像を建立。

あわら市二面41-4



湯治場としてのあわら温泉

温泉が湧き出た翌年、温泉宿が開業し、湯治客が訪れるようになります。温泉街となった3つの区では社を建て、医薬を司る仏を祀り、信仰と融和の中心となりました。三薬師にお参りすると、無病息災、延命長寿、除病安楽などのご利益があるとされています。

初めて温泉が湧出した地。あわら温泉湯元の井戸がある。

温泉発祥地公園
あわら市堀江十楽



松乃露
サクッと軽い食感と上品な甘さが特徴のメレンゲ菓子で昭和天皇にも好まれた。

御菓子司 浅野耕月堂
あわら市温泉4-916 0776-77-2035



どんりん
フルーツカステラと粒あん、和と洋が融合したスイーツ。

だるまや菓舗
あわら市温泉3-601 0776-77-2154



芦のゆ玉
温泉の湯気をイメージしたふわふわの饅頭。中には粒あんがたっぷり。

御菓子司なんば屋
あわら市二面48-7-1 0776-77-2226



湯の花せんべい
一枚一枚、手焼きで仕上げた軽い歯ざわりのせんべい。赤いパッケージが目印。

なべや湯の花せんべい本舗
あわら市温泉5-1403 0776-77-2626



昔ながらの温泉甘味♪

歌人
与謝野晶子 1878-1942



「越しのくに いみじく清き あけぼのの色」。明治から昭和にかけて活躍した歌人・与謝野晶子が夫婦であわら温泉に宿泊した際に歌った句です。冬のあわらの景色を美しく表現しています。



与謝野晶子歌碑
あわら市温泉1-301
(福井銀行芦原支店前)

医師・医学教授
藤野巖九郎 1874-1945



あわら市で医者の子三男として生まれ、医学部を卒業後、仙台医学専門学校(現東北大学)の講師を経て、教授に就任。その頃、中国からの留学生・魯迅と出会い、のちに日本と中国の架け橋となります。旧宅を移築した記念館には、医療器具や手紙など多くの遺品を展示。



藤野巖九郎記念館
あわら市温泉1-203

福井初の衆議院議長
杉田定一(鶺鴒山) 1851-1929



福井県初の衆議院議長 杉田定一は、当時の三国・芦原・金津の3町発展のため、私財を投げ打って国鉄三国線の敷設に尽力。明治44年、鉄道開通により、あわら温泉街は飛躍的な発展を遂げました。「鶺鴒山庵」は地元有志により建てられ、昭和31年の大火も免れた貴重な建築物です。



鶺鴒山庵
あわら市温泉4-2(あわらグランドホテル裏)

軌跡を残した偉人

この町にゆかりのある偉人をご紹介します。

あわら温泉街

芦が茂る湿地だったこの町に、温泉が湧き出たのは明治16年のこと。以来、関西の奥座敷として著名人にも愛され、湯治や観光で賑わう町となりました。20軒以上ある旅館それぞれが自家源泉を持っているため、泉質や効能は少しずつ異なります。それもあわら温泉の魅力のひとつです。



あわら市認定ガイド
淳子姉さん

芦湯を出発してランチやスイーツなどを堪能しながら温泉街を歩く約2時間のツアーがおすすめ。面白く分かりやすくご案内します!

一般社団法人あわら市観光協会
TEL.0776-78-6767

川を利用した暮らし

宿場町と北陸街道



陸路と水路が交差する金津地区は、人とモノが行き交う交通の要衝。市姫橋のたもとでは、沖仲仕が荷物を積み降ろし、宿場は旅籠屋、問屋、妓楼が軒を連ね、日替わりで市が立つほど賑わっていました。あわら市郷土歴史資料館では、当時の様子をジオラマで見ることができます。

あわら市郷土歴史資料館 あわら市春宮2-14-1
金津本陣IKOSSA(イコッサ)2階 TEL.0776-73-1065



大鳥神社の大銀杏

大鳥神社の大銀杏は樹齢1000年とも言われており、秋になると境内中を黄色い落ち葉が埋め尽くします。境内では縄文時代後期の大きな貝塚が発見されており、当時はこのあたりまで海岸が迫っていたようです。

あわら市花乃杜1-21-2

歴史と伝統を受け継ぐ



越前鬼瓦

江戸中期より約 250 年の歴史を持つ越前瓦。伝統を受け継ぐ唯一の鬼師・西郡正義さんは勇ましい鬼の面やひょうきんな姿など何十種類もの型を生み出しています。寺社や町中に飾られている、狂言「金津地蔵」や、芦湯の「嫁おどし伝説」のモニュメントも制作しています。

西郡鬼瓦工房
あわら市春宮1-9-31
TEL.0776-73-2711

瓦せんべい

越前瓦をモチーフにしたほのかに甘く香ばしい昔ながらのせんべい。

番清坪田尚華堂
あわら市市姫2-29-8
TEL.0776-73-0154



雨夜塚

松尾芭蕉が「奥の細道」俳句行脚の道中、ここで雨宿りをしたそう。急な雨に同志が集まって旅情を慰めましたが、間もなく晴れ間が顔を出し、次の地へ向かったと言われています。

金谷山 総持寺
あわら市花乃杜1-22-2
TEL. 0776-73-8778



穢れを払う神様

河の瀬に御座す女神を祀る河濯神社。宿場町時代には妓楼の女性たちが病にかからないように参ったと言われています。

河濯神社
あわら市春宮2-13



<本陣飾り物>



お椀や箸などの日用品を使って作られる飾り物。390年以上の伝統がある。

灯籠が立ち並ぶ参道は緑豊かな木々に包まれ、春になると桜で華やぐ金津神社。第26代継体天皇が勧請し、創建したとも伝えられています。例祭は毎年7月に行われ、勇壮な山車3基が18地区の本陣を練り歩き、本陣前では子ども踊りと曲太鼓が披露されます。

金津神社 あわら市春宮2-14-64 TEL.0776-73-2233

金津

KANAZU

～川とともに栄えた宿場町～

江戸時代には金津宿と呼ばれ、北陸街道の宿場町として栄えました。細呂木地区でとれる鉄を竹田川を利用して運んだことから、鉄を積み出す川港という意味で「金津」と名付けられたと言われています。金津小学校の校歌には「栄える町のにぎわいを 流れにうつす竹田川」と歌詞に登場し、川とともに町の繁栄があったことがうかがえます。



ガイド 清水さん

金津に奉行所が置かれた1613年から約400年後の2023年に新幹線の停車駅となる予定で、今も昔も交通の要衝。そんな町にロマンを感じます！楽しくユーモアたっぷりに町をご案内します♪
金津まちなかガイド 090-4689-3212



吉崎古道（切通し）

明治20年に人力で拓かれた鳴谷山の切通し。背丈より何倍も高い山壁は草木が茂り、苔むして、静かな時の流れを感じます。この道のおかげで、細呂木～吉崎間が歩きやすくなりました。



千束一里塚

東京の日本橋を起点に約4kmごとに設置された街道の目印。旅人が木陰で休息をとったという大きな榎は、約400年前から今なお立派に根を下ろし、枝を広げています。

細呂木 Hosorogi

～旧北陸道をあくるく～

八幡神社 嫁おどし伝説の谷

毎日、吉崎参りを続ける嫁を良く思わなかった姑が、鬼の面をつけてこの谷で待ち伏せし、嫁を脅した。すると、鬼の面が外れなくなったしまったという民話の舞台。



肉付きの面



吉崎御坊周辺のお寺では、実際に使われたという鬼の面を見ることができます。

聖地スポット！ のこぎり坂

親鸞上人や蓮如上人、加賀藩の大名行列も往来した旧北陸道（のこぎり坂）と、吉崎参りの難所を切り拓いた切通しの岐路は、当時の面影を残す貴重な古道として多くのファンが訪れています。

あわらし市細呂木58字12

聯珠山照厳寺



「柿原の郷千戸」と呼ばれるほど繁栄していた柿原に注目し、1617年に福井市幾久から寺を移しました。真宗大谷派の大寺で、境内には親鸞の像が地域の人々を見守っています。

あわらし市清王36-1-1 TEL.0776-73-0260

旧北陸道コース



細呂木関所跡

「入り鉄砲と出女」という言葉が残るほど、江戸時代は鉄砲の持ち込みと関所の外に出る女性を厳しく取り締まり、治安の維持に努めていました。

あわらし市細呂木26-6-1



お江戸コース

善政をしいた大名が
築いた安住の地



多賀谷左近の墓

初代福井藩主 結城秀康の重臣として越前と加賀の国境の鎮めを任せられた 多賀谷左近三経の御城下として栄えた細呂木。わずか7年の治世でしたが、政治、文化、交通、軍事の中心となりました。多賀谷氏の眠る地には、仏教の五大思想を表す「地水火風空」の文字が刻まれた約4mの墓と五輪塔が建てられ、奉賛会の人々により守られています。

あわらし市柿原36-8



般若山大蓮院専教寺

多賀谷氏の菩提寺は専教寺で、三経の弟・多賀谷光之助が7代目の住職を務めていました。

あわらし市柿原41-14
TEL.0776-73-0424

レンタサイクルで 細呂木めぐり



のんびり史跡巡りの拠点

地元住民の憩いと観光案内を目的に古い建物をリノベーションして、細呂木ふれあいセンター「らくーぎ」を創設。1階の「えきまえカフェ」は誰でも気軽にコーヒーが楽しめる人気。レンタサイクルもあるので天気の良い日はおだやかな自転車旅を♪

細呂木地区創成会の皆さん♪



細呂木の歴史探訪や史跡、自然に感謝したくなる絶景を観光ガイドが分かりやすくご案内します！

細呂木ふれあいセンター
えきまえカフェ「らくーぎ」
あわらし市青ノ木40-40
TEL.0776-97-5130



森の中をトレッキング

目的地までの道のりも楽しめるスポットをご紹介します。絶景の雨乞堂、タイムスリップしたかのような石切場跡、現代アートに浸る森など、歩きやすいシューズを履いて、さあ、出かけましょう！

金津創作の森

美術館を中心に周囲に広がる自然豊かな森。現代芸術の屋外作品も展示しています。森の奥にはさまざまなアーティストが暮らしながら創作活動をしています。

あわら市宮谷57-2-19
TEL.0776-73-7800



宮谷石切場跡

深い緑色に囲まれた、まるで石造りの神殿のような神秘的なこの場所は、明治20年頃から石の切り出しが始まり、セメントが普及するまで、竹田川の水運を利用し出荷されていました。

あわら市宮谷
*私有地のため細呂木創成会へ要予約
(0776-97-5130)
*足元が悪いので、歩きやすい靴、軍手、懐中電灯をご持参ください。



あまごいどう 雨乞堂(雨請堂)

石段を129段登り、尾根伝いを歩くこと約400m。日本海や北湯湖を望む小高い山の山頂に恵みの雨の神さまを祀った雨乞堂があります。

あわら市滝地区雨請山中

雨乞堂に続く尾根道



たたら製鉄遺跡



880～1010年頃に使用していたとされる北陸最古の箱形炉、縦型炉2基が発掘されています。
あわら市指中59字64-2市営駐車場奥の階段からお進み下さい。



川口城址と板碑



愛犬の犬獅子とともに戦う勇壮な姿が日本武勇談として知られる武将・畑時能が築いた川口城。跡地にある板碑(供養塔)は1368～1374年と推測され、現存する最古のもの。
あわら市指中64字

最古のものが残る町・細呂木



地区名の由来になった市街道

両側に木が生い茂った急な坂道。ここはかつて加賀の商人が旧金津町へものを売り買いに来るときに使った商人の道です。6・8・0の付く日に各地区で市が開かれていたため、六日・八日・十日という地区名が市町村合併前まで使われていました。
川口城址より県道153号へ降りる坂道

春日神社

衣かけの大杉と石造狛犬



平安朝の頃、春日神社に仕える人々が身を清めるとき、この大杉に衣をかけたといわれています。また、現存する越前狛犬では最古の年号「永正12年」が刻印されたものが安置されており、筋肉の様子、活き活きとした表情がよく表現されています。

あわら市沢39-1



北潟湖と大聖寺川が合流し日本海につながる吉崎は海風が混じる、とても気持ちいい場所。ツーリングや自転車で駆け抜けるのもオススメです。歴史のまち「吉崎御坊」を分かりやすくご案内します。
一般社団法人 蓮如の里 吉崎 090-8099-7870

1 県境をまたぐ

ひとつの建物に福井県と石川県の2つの住所が混在する珍しい吉崎地区。県境ならではのユニークなイベント「県境綱引き」が毎年10月に開催されており、勝てば陣地が1m増えるんだとか。また、建物横には実際の県境ラインが瓦で敷かれています。

📍越前加賀県境の館
あわら市吉崎2丁目1004-2 TEL.0776-75-1705



2 蓮如上人の軌跡をたどる



七不思議の残る御山

知る人ぞ知る桜の名所「御山」には本堂跡といくつもの伝説が残り、美しい鹿島の森を望む景色も見られる地元の人々憩いの山です。七不思議のひとつ「お腰掛けの石」は雪が積もってもすぐに溶けてしまうことから、いつまでも蓮如上人の温もりが残っているとされています。



お腰掛けの石

蓮如上人が座って景色を眺めたと言われています。

📍吉崎御坊跡 あわら市吉崎2丁目



御影道中

京都にある本願寺から蓮如上人の御影を吉崎まで徒歩で運ぶ全国でも珍しい行事。約350年前とほぼ同じ道を歩きます。



蓮如の里ふるさとの道を歩く会

毎年4月、御影道中と同じ道を10kmほど歩く会が開催されています。市内旧跡を巡りながら、切通しを進み、吉崎御坊へ。
参加希望の方は、あわら市文化学習課(0776-73-8041)へ。



一字一石墳

浄土三部経を小石1個に一字ずつ書いて土中に埋蔵し、その上に石碑を立てた経塚。蓮如道の途中にあります。

3 鹿島の森の貴重な自然を観察しよう

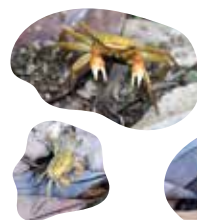


かつて、日本の森の大半は鹿島の森のような葉の厚い樹が生い茂る豊かな森でしたが、今ではこのような森は少なく貴重なもの。ここで縄文弥生時代の土器が発見されています。

📍鹿島の森 石川県加賀市塩屋町



日本海の荒波と体積した土砂でできている鹿島の森は、今でも地形が少しずつ変化しています。



山のカニ

ツメが赤いことからアカテガニと呼ばれています。海で生まれ、大きくなると陸に戻って、水気の多い草むらで生活。夏、森の中で耳を澄ますと、カニが動くカサコンという音が聞こえてきます。



吉崎

Yoshizaki

～蓮如上人の選んだ土地～



御山から望む鹿島の森

1471年、蓮如上人が北陸での布教活動の拠点として選んだ千歳山。通称「御山」、「吉崎御坊」と呼ばれ、多くの門信徒が訪れました。三方を湖と川に囲まれ、万が一のときは舟で越前、加賀、日本海へと逃げやすい地の利がこの地を選んだ理由のひとつとされています。

北潟の森ウォーキング

日本海の波風から大地を守る役割を果たしてきた北潟の森には、起伏に富んだ森の道があり、季節ごとの山野草や生き物が見られます。
(入林許可申請のため3週間以上前に要問合せ：
0776-78-6767)



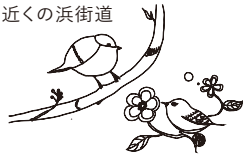
北潟国有林入り口



波松地区にある白髭神社近くの浜街道

山野草の宝庫

北潟の森は、一年を通してオウレンやヤブツバキなどの山野草が豊富に自生しています。運が良ければ、それらを目当てにやってくるメジロやシジュウカラなど野鳥の姿も見られるかもしれません。



適切に管理され保護されている森



足元に咲いている小さな山野草



北潟 Kitagata

～豊かな自然を楽しむ～

福井県で3番目に大きい湖を持つ北潟。北潟湖には多くの生き物が暮らし、「日本の重要湿地500」にも指定されています。北潟の森（北潟国有林）では、蓮如の道の一部だった浜街道や、曲がりくねった切通しなども見られるので、同時に思いを馳せながら自然を楽しんでみては。

愛の神とお清水

生命を育む水の恵みに感謝し、永禄8年、愛の神をお祀りしました。饗の神とも言われ、田の神と水の神で夫婦神とされています。昭和23年の福井大地震のときも濁ることなく豊かに湧き出して、多くの人々が救われました。

あわら市北潟 36-5
旧 JA 花咲ふくい北潟支店すぐそば



あわら夢ぐるま公園

「あわら夢ぐるま公園」の展望台からは四季折々の北潟の風景が楽しめます。春から秋にかけては「夢ぐるまcaféふわり」もオープンしているので、ひとやすみにぜひ。赤い橋が目印の北潟湖畔公園ではサイクリングも楽しめます。

あわら市北潟267-237



巨大な風力発電所「あわら夢ぐるま」。あわら市には10基すべてを一望できるスポットがいくつかあり、そこを見つけれたらハッピーになれるというウワサ！

巨大風車と北潟の自然

北潟地区に歴史と美しい自然がたくさん残っているのは、祖先たちがこの地に敬意を払い、愛してきたからだと思います。私たちはそれを受け継ぎ、後世に伝えていく活動をしています！自然豊かな北潟国有林の散策路を分かりやすくご案内します。

あわらの自然を愛する会
河田勝治さん
TEL.0776-78-6767
(あわら市観光協会)





JRをご利用の場合

「JR芦原温泉駅」が最寄駅となります。

東京からは北陸新幹線(金沢経由)、または東海道新幹線(米原経由)どちらもご利用いただけます。

お車をご利用の場合

■東京・大阪・名古屋方面より

「米原JCT」で北陸道に乗り換え、約2時間、「金津IC」で一般道へ

■金沢方面より

「金沢西IC」より約50分、「金津IC」で一般道へ

ガイドのお申込み・お問合せ

あわら温泉街エリア

一般社団法人 あわらし観光協会 0776-78-6767

金津エリア

金津まちなかガイド 090-4689-3212

細呂木エリア

細呂木地区創成会 0776-97-5130

吉崎エリア

一般社団法人 蓮如の里 吉崎 090-8099-7870

北潟エリア

一般社団法人 あわらし観光協会 0776-78-6767

ガイド詳細は情報は awara.info へ！

